

第24回通常総代会 議案書

- 第1号議案 2022年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2022年度決算ならびに監査報告承認の件
- 第3号議案 2022年度損失処理案承認の件
- 第4号議案 2023年度事業計画決定の件
- 第5号議案 2023年度収支予算決定の件
- 第6号議案 2023年度役員報酬決定の件
- 第7号議案 議案決議効力発生の件



和歌山高齢者生活協同組合

総代会次第

2023年6月18日（日） 和歌山県 JAビル 和ホール

第1部 総代会

13:30～15:30

（受付開始12:45～）

1. 議長選出
2. 資格審査委員、議事録署名人、書記選出
3. 資格審査報告
4. 開会挨拶
5. 祝電披露
6. 議事審議
 - 第1号議案 2022年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 2022年度決算ならびに監査報告承認の件
 - 第3号議案 2022年度損失処理案承認の件
 - 第4号議案 2023年度事業計画決定の件
 - 第5号議案 2023年度収支予算決定の件
 - 第6号議案 2023年度役員報酬決定の件
 - 第7号議案 議案決議効力発生の件
8. 閉会挨拶

第1号議案 2022年度事業報告承認の件

【総論】

コロナ禍により事業活動が制限され、影響をうけた最後の年となりました。2023年1月にはクラスターが発生し、厳しい介護体制を強いられるとともに、大きな経営への影響を受けました。そのような中でも、新規事業を展開するなど今年も事業を確かに成長することができました。一方、労働問題の裁判が敗訴という結果に至りました。組合員活動では、4年ぶりに新しい高齢者活動拠点「お茶の間★あい愛」がオープン。さらに既存の活動拠点やお助け隊などでも、組合員の主体的な運営が促進され継続発展のための基礎づくりがすすみました。物価高騰、医療負担拡大など生活が苦しい中であって、連携団体とともに、高齢者の暮らしを守るための署名、意見書提出に取り組みました。

はからずもコロナ禍によって、「ひととひとがつながることの大切さ」、「新しい働き方や技術導入の大切さ」、「人を支える介護・福祉事業の使命」が改めて高齢協に刻まれた一年となりました。

A 事業経営・運営

- 既存事業所のすべてが黒字化できる体制を構築できたとともに、固定資産を増やし経営改善がすすみました。
- 和歌山市直川に新しい拠点が誕生しました（本部、福祉用具、ケアプランセンター）。
- 変形労働時間制を導入し、新しい働き方がはじまりました。各事業に応じた電子機器の導入もすすみました。
- ケアセンターおたっしや倶楽部伊都・橋本事業所が廃止となりました。
- ハラスメント対策リーフレットを配布し、弁護士による全職員研修会もおこないました。

B 組合員活動

- 人生の旅立ち応援事業を白浜町、紀の川市、和歌山市の4カ所で開催できました。
- 地域活動では、8月から「お茶の間★あい愛」が始動。紀和庵、PCサークルが移転リニューアルしました。
- 組合員の自主的な参加をめざし高齢者活動拠点（和我楽の家、ささえ愛センター、いづく亭～紀和庵）の運営体制がととのいました。
- 公式サイトのリニューアル、SNS活用、パンフレットリニューアル等の広報活動にとりくみました。

C 地域連携

- わかやま市民生協との連携で、コープ岩出中央店と中之島店で福祉用具体験会、介護相談会のイベントを開催し、地域住民、組合員と直接ふれあうことができました。
- 年金者組合和歌山市支部がすすめる加齢性難聴の補助を求める署名に協力しました。運動が実り、令和5年度より和歌山市予算で補助が実施されることになりました。
- 和歌山高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会に協力団体として加わり、オンライン企画と対面企画の2回開催（初）の実現に寄与しました。

1 事業・運営

“住み慣れたまちで自分らしく生きる人生を支える”高齢協の使命達成のために、事業の新設や働く環境整備の充実に取り組みました。

【1】 ワンランクアップの事業形成・和歌山市直川地区に複合事業の新拠点

2015年から検討してきた和歌山市紀の川以北の東部地域でケアプランセンター設置をすすめること、本部（プレハブ）の厳しい就労環境を改善すること、やまぐち訪問介護の外部設置化が検討されたこと（現在保留）、提供サービスの種類をふやす（複合化）への挑戦をやまぐちプロジェクトで議論してきました。その結果、物件を購入取得し、各事業の収益を借入返済にあてる計画が成立し、ちょうどよい物件に出会い2022年4月に和歌山市直川地区に新拠点を設置しました。地域の直川自治会から「高齢協の事業活動によって地域の安心が増えることに期待します」と歓迎をいただきました。コロナ禍により積極的な活動は自粛しましたが、期待にこたえられる取り組みを検討します。

このように経営資源を強化したことで、新たなニーズに対応できるワンランクアップの事業体制を構築することができました。

（1）新設 シニア COOP 和歌山北ケアプランセンター 6月開始

ケアマネジャー4名体制でスタートしました。3名が社会福祉士資格をもっています。介護が必要な親のある現役世代の介護離職を防ぐために創設された「ワークサポートケアマネジャー」に2名合格しました。『幅広い相談ニーズに応えられる体制』の準備がすすみました。

（2）新設 おたっしゃ倶楽部福祉用具 8月開始

福祉用具貸与・販売事業は高齢協で初のサービス種類です。『サービスの複合化による利用者満足の上昇』『在宅で困りごとを抱える方への相談充実』に向けて新たな一歩がはじまりました。また、「生協法人」で、福祉用具貸与・販売事業を行っている生協は高齢協のみです。福祉用具事業を活かし協同組合間連携を深めることができました（後述）。

（3）組合員にこそ介護・福祉事業をしていただく

高齢協の通信「事業所紹介」ページおよび、ホームページ、Facebookで介護事業所の、外観・働くスタッフ・PRや特徴を継続的にお知らせしてきました。わがらカフェに集う組合員や地域の方に、福祉用具体験会を企画、実施しました。



新本部＋シニアコープ和歌山北ケアプランセンター＋おたっしゃ倶楽部福祉用具
（和歌山市直川 565-7）

【2】 給与改定にふさわしい事業経営・選ばれる事業所を皆の力で実現

あらたな人材確保をすすめる労働環境の整備とともに、職員が長く働ける職場づくりをおこない、事業を継続し続け、生き残るための取り組みをおこないました。

(1) 常勤職員対象に導入した「変形労働時間制」のメリットを強化する

良かった点	課題点
<ul style="list-style-type: none"> ・自由な勤務時間を選択できるようになった ・シフトが組みやすくなった ・隠れ残業にも適正に支給できるようになった ・有休消化率があがった 	<ul style="list-style-type: none"> ・シフト制でメリットを受けられない職種もあった ・月労働時間の未達や土日祝の割増手当がなくなつたために、土日祝の人手が厳しくなった ・残業代圧縮を期待したが、思う程減らなかった ・有休の考え方について理解のばらつきが露呈した
<p>《総評》 良い点と課題が明らかになりました。課題点について引き続き次年度以降も解消を目指します。</p>	

(2) 目標面談・昇給の仕組みを整えます

良かった点	課題点
<ul style="list-style-type: none"> ・退職金や福利厚生など、昇給制度以外を望むニーズを把握することができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家に相談しながら所長会議に諮ったが、意見はまとまらず実現できなかった ・職場活性化アンケートも実施できず
<p>《総評》 処遇改善加算の関係で人事評価制度を現場職員にも導入することは必須になっています。なるべく現場の負担が少ない形での実現を、引き続き模索します。</p>	

(3) 電子機器の活用や応用

勤怠ソフトの本格導入	手書きの出勤簿を集計する手間がなくなり、記録の客観性も向上しました
スマートフォンへの切り替え	私物スマホのLINEに頼っていたやりとりが、法人備品で対応できるようになりました
タブレット等を活用し介護記録を管理	介護記録のソフトへの転記の手間が省け、紙書類も減りました
組合員名簿のクラウド化	長年更新しなかった名簿ソフトをクラウド化。データ保管の安全性が高まり、様々な集計方法ができるようになったため、名簿活用の可能性が広がりました
口座振替の普及	手集金で行っていた介護利用料等について、インターネットから請求し引き落としができる口座振替を導入しました。訪問しての集金や小銭計算の業務負担の軽減につながりました
<p>《総評》 様々な働く場面で、電子機器やソフトを導入し、働く環境の改善に寄与しました。次年度も継続します。</p>	

(4) 職員向けハラスメント対策リーフレット配布と研修

①「ハラスメントはいけないこと」「何がハラスメントになるか」を普段から考えられるように、「ハラスメント対策リーフレット（完全オリジナル作成）」を全職員に配布しました。同時に、本田宗哉弁護士によるハラスメント研修（10/26）でパワーハラスメント、セクシャルハラスメント、カスタマーハラスメント（介護職員への過度なクレーム、ひどい暴言、不当な要求、暴行、セクハラなど）について、研修会をおこないました。ハラスメントに該当するかを判断する正しい基準や、個人、事業所、法人のとるべき対応についてみなで学ぶことができました。

②講師に堀部三智子氏（日本アンガーマネジメント協会）をお招きし、所長、本部職員向けに、アンガーマネジメント研修（3/19）におこないました。



【3】経営チェック体制の向上・次期報酬改定への対策検討に着手

客観的な視点を得て執行部会内で共有できていなかった課題を浮かび上げらせ、必要な対策の方向性を見出すことができました

(1) 税理士をまじえた、経営会議を5/13、9/22に実施し経営課題を共有しました。
メンバー： 田中理事長、島副理事長、内田専務、畠山常務、小長谷部長、林事務長
くらしあす（長谷川税理士、山岸氏）

(2) 事業体制の維持発展

嘱託職員制度の具体的な運用ルールをさだめて、人材確保の方向性を明らかにしました。

(運用ルール：常勤で65歳の定年退職者を迎える方に適用。1年更新制で70歳まで更新可能。給与、勤務時間、勤務内容は個別相談によるオーダーメイド。なお、70歳以降は時給パートとして最長80歳まで働き続けられます)

(3) 役員の役割分担

非常勤役員が理事会だけでなく、段階的に委員会や組合員活動の役割分担を引き受けたことで、高齢協の日常的な事業活動の幅が広がりました(一例)。

- ハラスメント対策チーム
- ささえ愛センター運営を考える会
- 組合員のためのなんでも相談電話
- 高齢協通信編集会議・執筆寄稿 など

【4】 経営目標の到達

	2021実績	2022予算	2022実績
事業高	4億3401万	4億2886万 前年度比98.8%	4億3382万 予算比 101.1% 前年度比 99.9%
仕入高			172万
販売費及び 一般管理費	4億1725万	4億2927万 前年度比102.8%	4億2887万 予算比 99.9% 前年度比 99.9%
事業外収益	1065万	666万	1498万
事業外費用	277万	473万	504万
経常剰余金	2463万	152万	1316万 予算比 865.7% 前年度比 53.4%
特別損失			▲1908万
法人税等	▲245万		▲69万
当期剰余金/損失金	2217万		▲660万

(1) 2022年度事業経営の特徴

・後述する特別損失が影響し、2017年以来5年ぶりの赤字決算となりました。しかし本業の利益を示す経常剰余金は、3年連続で利益率3%以上を達成しており、継続して安定した事業運営ができました。

・2018年からの連続黒字とすべての既存事業所の黒字体制構築を背景に、事業の新設や働く環境整備の充実に取り組みました。4月から12月までの同月比で過去最多売り上げ月を6度も更新することができました。働きやすい職場づくりへの充実に取り組んだ結果（変形労働時間制導入等）、常勤給与が昨年比9.0%増加しました（1352万円）。

・設立時より高齢協の重要な事業所であった、ケアセンターおたっしや倶楽部伊都・橋本事業所が地域理事から申出を受けて、廃止（令和4年12月）となりました。利用者・職員のすべての同意で株式会社サニーへ移行しました。法人は変わりましたが、引き続き、運動面、組合員活動面での連携をおこなうことになりました。

・令和5年1月から、コロナ感染が全体にひろがりクラスターが2カ所で発生しました。複数の事業所で売上が半減し、かつ回復するまでに数か月の時間を要しています。しかし、そこにはいのちを守り、拡大を防ぐための職員の懸命な努力がありました。貢献にむくいるため、コロナ対応慰労と感謝を込めて、年度末一時金支給（268万円）をおこないました。

・本部による効率的な事業支援の実施がさらにすすみました。中小企業応援サイト「ICT導入で、仕事の質の向上と時間の削減を実現 働く人と利用者にとって優しい組織をつくる」(<https://smb.ricoh.co.jp/casestudy/001131/>) で取り上げられ、その一端が紹介されています。

・特別損失の計上（内、和解費用1637万円）をおこないました。元事務局長が高齢協を「退職届けの無効を求め」て訴え2020年から約3年裁判で争ってきました。2023年2月に3年間の給与、賞与を支払う内容で和解が成立しました。大きな支出となりお詫びするとともに、総括し再発防止につとめます。なお、特別損失計上額（和解金1637万円）の具体的処理としては、22年度の高齢協支払額は476万1926円であり、残額は借入金により支払っています。

（2）税引き後当期剰余金／損失金および累積赤字の推移

単位：千円	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
剰余・損失	3,784	▲14,466	▲12,278	▲18,723	87	7,070	<u>1,988</u>	22,179	<u>▲6,609</u>
累積赤字	2,310	389	▲12,667	▲31,390	▲31,303	▲24,252	▲22,985	▲806	▲7,415

※2020年 賞与引当金18,500（千円）を計上しました。実質剰余金は20,488（千円）。

※2022年 特別損失19,080（千円）を計上しました。経常剰余金は13,165（千円）。

2 組合員活動

【1】組合員活動の充実

組合員の皆さんが「人生の完成期を、自分らしく輝いて生きる」ための、人生の旅立ち応援事業を2年目の取り組みとして実施しました。終活講座「人生の旅立ち応援講座」では和歌山市内に加えて、白浜町での開催が実現し、県内全域での組合員さんのためニーズを受けとめるための一歩を踏み出すことができました。和歌山市内での「人生の旅立ち応援講座」では、講師として松下真次司法書士の方の協力を得ることができ、より専門性が深まる内容になりました。講座内容に合わせて昨今の「相続や遺言に関する公的な制度改変」に伴い、和歌山地方法務局供託課より資料提供や説明を受ける機会をいただきました。また、昨年にひきつづき専門的な立場で「善称寺」「公善社」の皆様にご協力をいただきました。ありがとうございました。

県内5グループある「お助け隊」は組合員のニーズにそった生活と暮らしの支援を引き続きおこないました。また地域連携の成果として「高齢者向けくらしのべんり帖」に、お助け隊事業や地域活動拠点の紹介を掲載していただきました。

<p>人生の旅立ち応援事業</p>	<p><葬送の生前予約> 自分の希望に沿った葬儀について考えたいというニーズに応え、希望に沿った生前予約の相談や受付をすすめました。</p> <p><旅立ち応援講座> ① いつか訪れる人生の旅立ちにむけ、気がかりなことを解決したり、やってあげることをアドバイスし一緒に考える終活講座を企画開催しました。</p> <table border="1" data-bbox="603 1279 1425 1525"> <thead> <tr> <th>日程会場</th> <th>人数</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11/12 麦の郷地域交流スペースみさわ</td> <td>10名</td> <td>終活、遺言&相続</td> </tr> <tr> <td>11/15 やまぐちささえ愛センター</td> <td>10名</td> <td>終活、遺言&相続</td> </tr> <tr> <td>11/17 わがらカフェ</td> <td>10名</td> <td>終活、福祉用具体験</td> </tr> <tr> <td>11/20 白浜ぬくもりの里</td> <td>10名</td> <td>終活について</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 身近な場所で少人数でも開催できる「人生の旅立ち応援出前講座」は実施するまでには至りませんでした。具体的なよびかけの工夫の必要性が課題としてあげられます。</p>	日程会場	人数	テーマ	11/12 麦の郷地域交流スペースみさわ	10名	終活、遺言&相続	11/15 やまぐちささえ愛センター	10名	終活、遺言&相続	11/17 わがらカフェ	10名	終活、福祉用具体験	11/20 白浜ぬくもりの里	10名	終活について
日程会場	人数	テーマ														
11/12 麦の郷地域交流スペースみさわ	10名	終活、遺言&相続														
11/15 やまぐちささえ愛センター	10名	終活、遺言&相続														
11/17 わがらカフェ	10名	終活、福祉用具体験														
11/20 白浜ぬくもりの里	10名	終活について														
<p>組合員のためのなんでも相談電話</p>	<p>担当理事のサポートにより週1回の相談電話を実施しましたが、年度後半は受信数がなく、相談電話が必要な方にどのように伝えるか、「広報」の課題が残りました。</p>															
<p>組合員のための法律相談</p>	<p>11/18 上野顧問弁護士による法律相談で2名のご相談に応じました</p>															
<p>どこ竹わかやま</p>	<p>実施できませんでした</p>															
<p>お助け隊</p>	<p>① 「紀南お助け隊新グループ」立ち上げ準備会には至りませんでした ② 令和お助け隊の全員集会をおこない「会則」「予算」を決定し、正副隊</p>															

	<p>長が互選で選ばれました。</p> <p>③ 各グループ活動実績</p> <p>和歌山（田村グループ） 1 9 4 3 時間</p> <p>和歌山（令和グループ） 1 4 9 0 時間</p> <p>和歌山（女性部結い） 2 8 8 時間</p> <p>御坊（役立ち隊） 4 4 4 時間</p> <p>伊都・橋本お助け隊 3 0 0 時間 合計 4 4 6 5 時間</p>
パソコンサークル （和歌山市中之島）	紀和庵移転にあわせて、引っ越しをおこない、いままでと同様週2回の活動をおこなっています。

〔2〕～高齢者拠点活動～

「いつまでも健康で自分らしく、生き生きと人生を過ごすこと」は、多くの組合員の皆さんの共通の願いです。それぞれの生活圏内の身近な場所で交流や余暇活動を楽しむことで、その願いが実現することをめざして活動をすすめました。組合員の皆さんにサポートしていただき、8月から新しい地域活動拠点が和歌山市三沢町に誕生し、和歌山市内の東南部エリアの組合員の皆さんが参加しやすくなりました。

また、やまぐちささえ愛センターでは昨年度「運営を考える会」の体制ができ、すでに継続している「紀和庵会議」など組合員の皆さんによる主体的な運営が、順調に促進しました。そのことで活動プログラムの拡充につながっています。紀の川市和我楽（わがら）の家では、活動に参加されている皆さんのニーズを把握するためのアンケートを実施するとともに、日常的に運営にかかわってくれる方を募りました。「現在月1回の活動回数を増やしてほしい」という意見も多く、やりたい活動や「運営を考えるメンバーになってもいい」との申し出も多くいただき、主体的な運営体制づくりの道筋が見え始めています。

2022年4月～2023年3月

	運営体制	活動内容	実績
和我楽の家 （紀の川市）	<p>本部 相談従事者 中谷 典子（やまぐち・れくら ん所長）</p> <p>イベントチラシ発行</p> <p>運営を考える会体制 づくりがスタート</p>	<p>・わがらカフェ 月1回開催 みんなで唄う会・落語・手 品・傘踊りと銭太鼓&ピン ゴ・終活講座・にこにこ体操</p>	<p>年間 12回 参加数 175名</p> <p>おもな対象エリア 紀の川市、和歌山市東部</p>
ささえ愛センター （和歌山市里）	<p>月1回 ささえ愛センター 運営を考える会開催</p>	<p>セラバンド体操（週2回） ささえ愛ビクス（月4回） おしゃべり会（月2回）</p>	<p>年間 242回 参加数 2335名</p>

	(6名)	おしゃべり会に併せてクラフト アート、落語会（不定期）・健康体操（週1回）・映画上映会（不定期）・みんなで唄う会（隔月）	おもな対象エリア 和歌山市内山口地区、岩出市、紀の川市
		<会場利用> すみれの会・体操（週1回）・らくらくピアノサークル（月2回）・ハッピーバンド練習（月2回）	
	月1回予定表発行	<福祉事業所とのコラボ> 一麦会むぎピースお菓子販売に協力（現在休止中）	
いっぷく亭～紀和庵～ （和歌山市中之島）	月1回 紀和庵会議 開催 （3～5名）	ゆっくりと体操・フラダンス 歌をうたおう・楽しく頭の体操・カラオケ・青春喫茶・紙芝居&腹話術・音読カフェ・落語会 季節の行事 など	年間 88回 参加数 530名
	月1回予定表発行		おもな対象エリア 和歌山市内東部、中心部
お茶の間★あい愛 （和歌山市三沢町）	運営体制準備中	カンタン体操（月2回）	年間 44回（8月～） 参加数 315名
	月1回予定表発行	音読カフェ（月1回） かんたん麻雀教室（月2回） みんなで唄う会（隔月1回） 毎週月・水・土おしゃべり会 地域連携として子ども食堂でのアート活動（隔月）	

< 地域活動参加数 3355名 >

〔3〕 組合員加入・出資金目標の到達

- 加入到達目標 4159名（年間+100名） ⇒ 実績4093名（+34名）
- 出資金到達目標 3687万円（年間+200万円） ⇒ 実績3351万（-13万円）

	前期末	当期加入者	当期脱退者	期末残高
組合員数	4,059名	118名	84名	4,093名
出資総口数	34,883口	1,110口	2,378口	33,516口
出資金総額	34,883,000円	1,110,000円	2,378,000円	33,516,000円

(1) 生協強化月間期間中の(10月～12月)の取り組み

連携団体へのPR、組合員活動拠点での呼びかけ、お助け隊での加入促進、役員からの勧誘、介護福祉利用者への呼びかけ などに取り組みました。

・新規加入目標60名をこえる64名を達成しました(達成率106%)

介護・高齢者活動拠点・お助け隊の各利用者が29名加入されました
連携法人、団体から18名が加入されました

・出資増資目標150万円を76万円達成しました(達成率50.6%)

25名の介護・高齢者活動拠点の各利用者が増資(12.8万)されました
25名の役員・職員が増資(40.1万)されました

(2) 2022年の特徴

加入者・増資者は2021年度よりも14名多く一定健闘できました。しかし2021年度と同様に、50万円を超える複数の方の脱退が影響し、出資金総額の年間目標を下回りました。なお、出資金総額は3年連続の減少傾向にあります。

(3) 住所不明組合員の脱退手続きに関する規則を整備しました(施行日:令和5年4月1日)



ささえ愛センター・おしゃべり会



おしゃべり会・てづくりちらし寿司

【4】 広報

公式サイトのリニューアル	より見やすく、最新情報に更新しました
通信	年2回通信を発行しました
SNSの活用	Facebookで週3回を基本に、組合員活動や介護・福祉事業について情報を発信しています
パンフレットのリニューアル	専門業者によるデザインで、法人の基本的な情報を見やすく仕上げました。広報の様々な場面で活用中！
求人動画の作成	わかやま訪問介護、やまぐちおたっしや館の職員募集について、求人サイト業者を活用して職員募集動画を作成し、就職フェアなどで活用しました
《総評》 公式サイトやSNSなど情報に触れる機会を増やすことができました。次年度は動画制作と活用を進めてまいります	



わがらカフェ・さくらもち



わがらカフェ・新年ゲーム大会



令和お助け隊・全員集会



令和お助け隊・新体制記念撮影

3 地域連携

高齢協の理念は組合員の「人生の完成期、輝いて生きる」を実現することです。組合員の満足度をあげることと地域課題の解決は密接な関係があります。高齢協単体で足りない社会基盤を整備したり、課題のある制度を変えることはできません。思いを同じくする個人や団体と連携して、理念を実現するために、日常的な連携をおこない、小さなことからでもともに運動をすることが必要不可欠です。

【1】 平和と人権、くらしを守る地域連携

- (1) 和歌山県高齢期運動連絡会・和歌山市高齢期運動連絡会への定期的な会議参加をおこないました。全国レベルで開催される「日本高齢者大会 in 京都」に参加。
- (2) 加齢性難聴の補助を求める署名に協力し通信でよびかけ、382筆（妻の郷と連携して実施）の署名が集まり、主催者の年金者組合和歌山市支部にとどけました。運動が実り、和歌山市の令和5年度予算で補助が実施されることになりました。
- (3) 和歌山市と宝塚医療大学が中心となった「中之島地区まちづくりワークショップ」および「中之島まちづくり会」に、高齢協・ケアセンターおたっしや倶楽部和歌山ケアプランセンターとして参加しました。
- (4) きょうされん運動に協力しました（署名、物品販売）
- (5) 一般社団法人和歌山県セルフセンターが実施するカタログ販売「わっくる」物品購入に協力しました

(6) 実行委員会・ネットワークづくりとしての活動

にじいろカフェ実行委員会◆毎月のにじいろカフェのオンライン開催に取り組みました
・実行委員会に役職員が参加。毎月1回のオンライン開催※1月には第50回記念回として認知症研究・研修交流センター仙台の矢吹知之氏による「認知症カフェの意義と今後」の実現に協力しました。
・実行委員は、和歌山市地域包括支援センター川永、山口地区社会福祉協議会、山口地区民生委員協議会、社会福祉法人喜成会、株式会社ヤマシタ、紀伊地区住民などのメンバーです。

和歌山高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会◆オンライン企画12/10◆対面家族交流会12/24の2回の開催に取り組みました
・実行委員会に役職員が参加。
・知られていない高次脳機能障害・中途障害の課題をひろく知ってもらう運動を、ささえました。
・実行委員は団体として、ワークショップフラット、ワークショップてとて、高次脳機能障害家族会 和らぎ/和らぎ紀南、和歌山県高次脳機能障害支援拠点機関など。個人としては医師、大学教員、リハビリテーション職、福祉職のメンバーです。

<p>小規模作業所の将来を考える会◆事務局 山本功 氏（ワークショッププラットフォーム施設長／高齢協理事）</p> <p>・小規模作業所の多くは事務作業を負担に感じている共通の課題があります。</p> <p>2020年より同様の悩みをもつ施設長が集まり、ゆるやかなネットワークを構築しました。</p> <p>・いこいの家共同作業所、ひまわり作業所、ひいふうみい作業所、ワークショッププラットフォーム、ソラーナ、ワークショップてとて、グループホームふるさとなど。</p>
--

<p>にこにこオレンジカフェ実行委員会◆毎月の対面での認知症カフェ開催に取り組みました</p> <p>・実行委員会に役職員が参加。令和4年8月より和歌山市中之島地域の神社、中之島連絡所でのカフェ開催に取り組みました。</p> <p>・実行委員は、地域包括支援センター、地域の介護事業所などのメンバーです</p>

【2】 高齢協が団体加盟している連合会での活動実績

(1) 日本高齢者生活協同組合連合会

目的 連合会に加盟している全国18の単協とともに、高齢協運動の前進のために、仕事づくり・福祉・いきがいの3本柱の充実にむけて交流・研修・運動をおこなっています。

- 機能
1. 会員の指導及び連絡並びに調整
 2. 会の構成員である会員に対する会の事業に関する知識の向上を図る事業
 3. 会の事業に必要な調査研究及び一般的情報を提供する事業
 4. 会の構成員である会員の生活の改善及び文化の向上を図るための事業
 5. 会員以外の各種協同組合及び国際協同組合諸組織ならびに高齢者諸団体との連絡及び渉外

① 運動

- ・第9期介護保険制度改定にむけた意見書 厚生労働大臣へ提出

② 参加した研修や企画

- ・マネジメントセミナー 8 / 31 ハラスメント対策についての学習会
- ・組合員地域づくり活動部会 9 / 16 「特別障がい者手当」の兵庫高齢協の取り組み学習会
- ・組合員活動・地域交流会 11 / 25 令和・お助け隊活動報告
- ・根ほり葉ほり聞か会 11 / 29 テーマ移動支援で報告
- ・トップセミナー 12 / 23
- ・高齢協の目指すコミュニティケアを考えるためのミニ講座 2 / 16
- ・ばあちゃん旅体験 4 / 13

③ 理事（内田専務が日本高齢者生活協同組合連合会の理事）として参加している部会

- ・20周年誌記念委員会（高齢協の魅力を外部的の方にもお伝えする冊子作成中。委員長として参加）
- ・情報共有部会（ばあちゃん旅体験の企画など、全国の単協を積極的につなぐ部会）

④ 情報の共有

・先進的な事例など、和歌山の事業活動の参考となる情報を共有しました。

(2) 和歌山県生活協同組合連合会

目的 協同互助の精神に基づき、会員の事業の発展をはかり、会員を構成する組合員の生活の安定と生活文化の向上に寄与すること

基本テーマ 県連の果たすべき社会的役割の発揮と県民の暮らしへの貢献

重点課題 1. 県民の暮らしと健康を守る社会的諸課題にとりくみます
2. 会員生協間の事業と活動の連携と交流を促進します
3. 行政ならびに県内諸団体との連携・交流を深めます
4. 協同組合間協同の前進をはかる活動をすすめます

会員 11の生活協同組合で構成されています

和歌山中央医療生活協同組合、和歌山県学校生活協同組合、和歌山県労働者共済生活協同組合、わかやま市民生活協同組合、紀の国医療生活協同組合、和歌山大学消費生活協同組合、和歌山県立医科大学生生活協同組合、和歌山高齢者生活協同組合、泉南生活協同組合、メルスイー生活協同組合、生活協同組合コープ自然派おおさか

① 新たな企画が誕生しました。

・わかやま市民生協との連携を深め、昨年10月と今年3月に市民生協のスーパーにてイベントを開催。福祉用具の展示相談を受け付ける内容で、2回とも100名以上のお客さんに、様々な介護用品に触れてもらい、相談に乗ることができました。

② 参加した研修や企画

・監事研修会 5 / 20
・役職員研修会 6 / 15「世界・日本の協同組合について」
・前進座創立90周年記念講演 10 / 27「一万石の恋」
・第32回和歌山県生協大会 12 / 8「現在の国際情勢と日本の針路」(講師 藪中三十二氏)
・役職員研修会 2 / 17「生協で働くこと」
・和歌山城クリーンウォーク 3 / 8
・福祉活動交流会 3 / 23「泉南生協 福祉施設見学と講義」



7月オープンした「お茶の間★あい愛」が1
Fにある麦の郷の事業所「むぎピース」



お茶の間★あい愛～玄関



お茶の間★あい愛～活動室



お茶の間★あい愛～カンタン体操



お茶の間★あい愛～音読（おんどく）カフェ



お茶の間★あい愛～カンタン麻雀教室



コープ「中之島店」「岩出中央店」での福祉用具体験&介護相談会 その1



コープ「中之島店」「岩出中央店」での福祉用具体験&介護相談会 その2



コープ「中之島店」「岩出中央店」での福祉用具体験&介護相談会 その3



コープ「中之島店」「岩出中央店」での福祉用具体験&介護相談会 その4



わがらカフェでの福祉用具体験会



まちの銭湯で体験できるシャワー椅子を設置したPR活動

4 その他

1 組合の事業活動の概況に関する事項

I. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目	主な事業品目等
福祉事業	介護保険事業（訪問介護、通所介護、居宅介護支援、福祉用具貸与・販売） 障害者総合支援事業（就労継続支援、居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問）

II. 事業の経過及びその成果（2022年度決算のポイント）

ポイント1 「コロナなどで売上が減少するも、総事業高は前年と同水準」

総事業高は4億3,382万円（前年度比100%、予算比101%）でした。年度末に新型コロナウイルスのクラスターが複数の事業所で発生し、1月以降は伊都・橋本事業所が独立したことで売上は大幅に減少しました。しかし、上半期は現場の努力によって過去最高の売上を何度も記録し、年間トータルでは前年と同水準の総事業高になりました。

ポイント2 「5年ぶりの赤字決算に」

純損益金額はマイナス660万円と5年ぶりの赤字となり、累積赤字も741万円に膨らみました。

ポイント3 「事業所の再編で収益性アップ！」

事業所の再編により、ケアプランセンターの収益性が大幅に改善し、同分野での売上は前年度より伸びました。また、8月に福祉用具の貸与と販売を行うおたっしや倶楽部福祉用具を新設。まだ黒字化はできていませんが、新たな分野での事業拡大を目指しています。1月には伊都・橋本事業所（訪問介護）が独立しました。総売上の約1割を占めていた事業所で、経営への影響は23年度に本格化すると見込まれます。

《コメント》

過去に発行した組合債権の満期が続々と迎え、施設建設のために借りた銀行への返済も続き、資金繰りは厳しい状況が続いています。限られた資源を最大限生かしつつ、支出の見直しと削減にメスを入れるなど努力しました。

働く環境改善のため変形労働時間制を導入したことで人件費が約1,300万円増え、新型コロナウイルスのクラスター発生や伊都・橋本事業所の独立など売上の減少が重なりつつも、事業では黒字を維持できています。借入金の返済継続と、わずかに残る資金の有効活用で、さらなる収益性の改善を進めてまいります。

① 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況 (単位：円)

項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
組合員数	4,259 名	4,332 名	4,059 名	4,093 名
出資金額	39,533,000	39,103,000	34,883,000	33,516,000
福祉事業収入	391,035,540	405,682,413	404,878,321	404,592,693
その他事業収入	26,334,737	27,003,396	28,774,559	29,227,531
経常剰余額	7,773,896	1,988,944	24,637,004	▲5,919,128
総資産	317,435,530	313,520,929	342,816,087	316,930,900
純資産	15,280,770	16,117,214	34,076,818	26,100,690

② 福祉事業の状況

(i) 福祉事業収入の状況 (単位：円)

項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
介護保険事業	295,335,672	301,433,379	313,846,410	316,246,220
介護保険事業以外の事業 (障害者総合支援事業)	95,699,868	104,249,034	91,031,911	88,346,473
合計	391,035,540	405,682,413	404,878,321	404,592,693

(ii) 福祉事業収入の事業所別内訳 (単位：円)

事業所の名称	福祉事業収入	事業所の名称	福祉事業収入
わかやま訪問介護事業所	66,114,859	和歌山ケアプランセンター	26,389,230
伊都・橋本事業所	31,470,290	伊都・橋本ケアプランセンター	529,305
御坊・日高事業所	42,978,781	白浜ケアプランセンター	27,563,912
田辺事業所	48,085,098	和歌山北ケアプランセンター	20,097,522
やまぐち訪問介護事業所	18,814,899	白浜ぬくもりの里	49,170,894
ワークショップてとて	32,031,433	れくらん	37,200,768
おたっしゃ倶楽部福祉用具	2,401,251	合計	404,592,693

家賃や食費などを除いた金額

(iii) 福祉事業状況表

種類	項目	利用高 (単位：千円)		
		2021 年度	2022 年度	前年度比
介護保険事業	居宅介護支援	63,535	74,580	117 %
	訪問介護	159,442	151,434	95 %
	通所介護	90,868	87,831	96 %
	福祉用具	0	2,401	新設
介護保険以外の事業	障害者自立支援	91,031	88,346	97 %
合計		405,682	404,592	99 %

Ⅲ. 増資 及び 資金の借り入れ、その他の資金調達状況

資金調達内訳表 (単位：円)

調達方法	金額
出資金	▲1,367,000
金融機関	▲7,327,043
組合員借入金	▲14,550,000
合計	▲23,244,043

Ⅳ. 教育事業等の状況 (単位：円)

項目	金額
当期に繰り越された教育事業等繰越金	0

教育事業等の使途 (単位：円)

科目	内容	金額
研修費採用費	職員教育などにかかる費用	1,188,902
地域支え合い費用	組合員活動にかかる費用	1,226,205
合計		2,415,107

2 組合の運営組織の状況に関する事項

Ⅰ. 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日	2022年6月26日	
総代会日現在総代数		110名
出席総代	本人	39名
	書面	63名
	計	102名
(重要な議事、議決事項及び議決状況)		
第1号議案	2021年度 事業報告承認の件	賛成多数で承認
第2号議案	2021年度 決算ならびに監査報告承認の件	賛成多数で承認
第3号議案	2021年度 損失処理案承認の件	賛成多数で承認
第4号議案	2022年度 事業計画決定の件	賛成多数で承認
第5号議案	2022年度 収支予算決定の件	賛成多数で承認
第6号議案	定款変更承認の件	賛成多数で承認
第7号議案	2022年度 役員報酬決定の件	賛成多数で承認
第8号議案	議案決議効力発生の件	賛成多数で承認

Ⅱ. 役員に関する事項

役員一覧表

役名	氏名	略歴等
理事長 (代表理事)	田中 秀樹	現職 H26年6月就任 社会福祉法人一麦会 副理事長
副理事長	島 久美子	現職 R2年7月就任 一般社団法人共助のまちづくり協会 理事長
専務理事	内田 嘉高	現職 H30年6月就任
常務理事	畠山 穂美	現職 R2年7月就任
理事	宇治田 康司	現職 R2年7月就任 社会福祉法人いこい 副理事長
	金川 めぐみ	現職 H28年6月就任 和歌山大学 教授
	山田 三代士	現職 H14年5月就任 社会福祉法人一峰会 監事
	芝田 努	現職 H24年6月就任
	山田 俊治	現職 H28年6月就任
	北田 千恵	現職 H20年5月就任
	杉原 通男	現職 R2年7月就任
	小長谷 恭史	現職 H28年6月就任
	井上 美香	現職 H18年5月就任
	山本 功	現職 H29年6月就任
	坂口 圭子	現職 H29年6月就任
	横畑 真治	現職 H29年6月就任
	柏木 克之	現職 H29年6月就任
	安成 正美	現職 R2年7月就任
	岡 利樹	現職 R2年7月就任
	牛村 優太	現職 R2年7月就任
日野 のぞみ	現職 R4年6月就任	
監事	志場 久起	現職 H28年6月就任 NPO 法人わかやま NPO センター 理事長
	宮本 久美子	現職 R4年6月就任
	岩橋 典久	現職 R2年7月就任

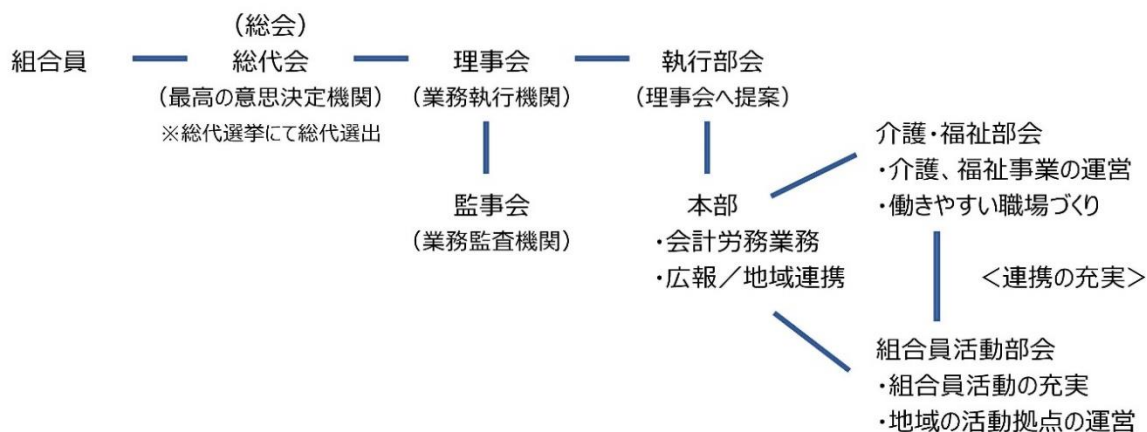
Ⅲ. 職員数及びその増減の状況

区分	前期末人数	当期末人数
常勤職員	54名	49名
パート職員	102名	79名
総数	156名	128名

※伊都・橋本事業所の独立で職員は減少

Ⅳ. 業務の運営の組織に関する事項

組織図
2022年



V. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

・摘要欄の「※」印は自己所有物件（建物のみも含む）

施設名	区分	所在地	建物		摘要
			延床面積 (㎡)	事業所面積 (㎡)	
1 事務所・地域活動拠点					
本部		和歌山市直川 565-7	464	464	※
いっぷく亭 紀和庵		和歌山市中之島 758	119	119	
やまぐちささえ愛センター		和歌山市里 198-3	117	117	※
和我楽の家		紀の川市上野 299-1	90	90	
お茶の間★あい愛		和歌山市三沢町 2-23-3	30	30	
2 訪問介護事業所					
わかやま訪問介護事業所		和歌山市楠見中 240-49	62	62	
御坊・日高事業所		御坊市菌 397-2	148	70	
田辺事業所		上富田町生馬字救馬溪 185-7	33	33	
やまぐち訪問介護事業所		和歌山市里 198-2	553.5	553.5	※
3 通所介護事業所					
白浜ぬくもりの里		白浜町才野 1322	220.2	198.5	※
れくらん		和歌山市里 198-2	148.5	148.5	※
4 居宅介護支援事業所					
和歌山ケアプランセンター		和歌山市中之島 758	20	20	
シニア COOP					
和歌山北ケアプランセンター		和歌山市直川 565-7	464	464	※
白浜ケアプランセンター		白浜町才野 1322	220.2	21.7	※
5 サービス付き高齢者向け住宅					
かみとんだおたっしや館		上富田町生馬 3225-19	416	416	
やまぐちおたっしや館		和歌山市里 198-2	553.5	553.5	※
6 福祉用具貸与・販売事業所					
おたっしや倶楽部福祉用具		和歌山市直川 565-7	464	416	※
7 就労継続支援 B 型事業所					
ワークショップてとて		和歌山市里 266	93.8	93.8	※

事業報告書の付属明細書

1. 役員報酬等の状況

区分	定款上の定員（名）	支給人員（名）	支給額（円）	摘要
理事	20～30	7	15,432,500	
監事	3～5	1	36,000	
合計		8	15,468,500	

※前年度総代会で議決した報酬限度額は、理事総額 1,800 万円以内、監事総額 20 万円以内

2. 役員報酬個別開示

理事長	0 円
副理事長	1,650,000 円
専務理事	6,566,500 円
常務理事	6,508,000 円
宇治田理事	600,000 円
非常勤理事	108,000 円（一名につき 36,000 円× 3 名）
理事兼務職員	0 円（3 名）
監事	36,000 円（一名につき 36,000 円× 1 名）
合計	15,468,500 円

3. 役員その他の法人等の業務執行責任者兼職状況

※事業報告書「役員一覧表」に記載



第2号議案 2022年度決算ならびに監査報告承認の件

貸借対照表 (和歌山高齢者生活協同組合 2023年3月31日現在) 単位：円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【95,536,789】	【流動負債】	【88,202,753】
現金・預金	36,511,106	短期借入金	12,000,000
国保未収金	40,392,729	未払金	23,522,783
公費未収金	12,634,877	未払費用	1,068,870
個人未収金	1,712,349	未払法人税等	690,000
短期貸付金	168,657	預り金	4,133,037
仮払金	289,994	仮受金	191,867
前払費用	1,244,068	未払消費税	710,100
未収金	2,366,771	貸倒引当金	350,000
立替金	216,238	長期借入1年以内返済額	13,861,096
【固定資産】	【220,853,391】	組合債 1年以内返済額	22,800,000
(有形固定資産)	(190,972,118)	賞与引当金	8,875,000
建物	130,829,872	【固定負債】	【202,627,457】
建物附属設備	69,694,342	借入金	149,487,457
構築物	20,972,818	受入敷金	2,640,000
機械装置	22,626,664	組合債権	50,500,000
車両運搬具	3,700,740		
工具器具備品	16,910,094	負債合計	290,830,210
減価償却累計額	132,050,977		
土地	58,288,565		
(無形固定資産)	(19,482,951)	純資産の部	
借地権	19,307,536	【株主資本】	【26,100,690】
電話加入権	175,415	資本金	33,516,000
(投資その他の資産)	(10,398,322)	(利益剰余金)	(▲7,415,310)
出資金	320,000	その他利益剰余金	▲7,415,310
長期前払費用	1,712,052	繰越利益剰余金	▲7,415,310
差入保証金	8,093,120	純資産合計	26,100,690
敷金	150,000		
預託金	123,150		
【繰延資産】	【540,720】		
水道加入権	540,720		
資産合計	316,930,900	負債・純資産合計	316,930,900

損益計算書 (和歌山高齢者生活協同組合 2022年4月1日~2023年3月31日) 単位：円

福祉事業	福祉事業収入	404,592,693	
	福祉事業原価	▲326,177,532	
	福祉事業剰余		78,415,161
その他事業	家賃等	27,498,743	
事業経費	人件費	▲60,528,911	
	物件費	▲42,164,645	
事業総剰余金			3,220,348
事業外収益	受取利息&配当金	13,859	
	引当金戻入&雑収入	14,973,655	
	事業外収益合計		14,987,514
事業外経費	支払利息&割賦手数料	▲3,153,605	
	減価償却&雑損失	▲1,888,556	
	事業外経費合計		▲5,042,161
経常剰余金			13,165,701
特別損失			▲19,084,829
税引前当期剰余金		▲5,919,128	
法人税等		▲690,000	
当期剰余金			▲6,609,128
前期繰越剰余金		▲806,182	
当期末処分剰余金			▲7,415,310

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記
 - 1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・有形固定資産…有形固定資産の減価償却は定率法を採用。ただし、建物については定額法を採用。減損会計は未導入。
 - ・無形固定資産…定額法
 - 2) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項
 - ・消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式を採用。

2. 貸借対照表に関する注記
 - 1) 資産にかかる減価償却累計額
 - ・減価償却は間接法により控除。
 - 2) 役員に対する金銭債権又は金銭債務
 - ① 理事に対する金銭債権又は金銭債務
 - ・金銭債務 2,405 万円
 - ② 監事に対する金銭債権又は金銭債務
 - ・金銭債務 430 万円

3. 損益計算書に関する注記
 - 法人税等
 - ・法人税等には、法人税、住民税、地方法人特別税、事業税を含む。

4. 退職給付会計に関する注記
 - ・職員の退職により支給する退職給付にあてるために、中小企業退職金共済制度を採用。

決算関係書類の附属明細書

1. 組合員資本の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
出資金	34,883,000	1,012,000	2,379,000	33,516,000
当期末処分剰余金	▲806,182	0	6,609,128	▲7,415,310
合計	34,076,818	1,012,000	8,988,128	26,100,690

2. 借入金の明細

1) 長期借入金等の増減

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
借入金	170,675,596	123,295,500	156,059,637	137,911,459
組合債権	87,850,000	0	37,350,000	50,500,000
長期未払金	0	11,575,998	0	11,575,998
受入敷金	0	2,640,000	0	2,640,000
合計	258,525,596	137,511,498	193,409,637	202,627,457

※借入金内訳（紀陽銀行 124,360,551 円、日本政策金融公庫 2,193,408 円、個人 11,357,500 円）

※借入金の一部が分割払いと判明し、該当額を長期未払金へ移しました

※サ高住入居者様の敷金は長期へ変更しました

2) 短期借入金等の増減

(単位：円)

短期借入金	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
紀陽銀行	0	12,000,000	0	12,000,000

3. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得価額
有形固定資産	建物	88,262,099	2,000,000		8,453,583	81,808,516	49,021,356	130,829,872
	建物附属設備	32,330,626	510,000		3,895,065	28,945,561	40,748,781	69,694,342
	構築物	5,197,434	2,442,000		714,639	6,924,795	14,048,023	20,972,818
	機械装置	14,681,757			1,732,446	12,949,311	9,677,353	22,626,664
	車両運搬具	466,828	440,000		678,032	228,796	3,471,944	3,700,740
	工具器具備品	2,153,382	638,600		965,408	1,826,574	15,083,520	16,910,094
	土地	57,646,065	642,500			58,288,565	0	58,288,565
	建設仮勘定							
	計	200,738,191	6,673,100		16,439,173	190,972,118	132,050,977	323,023,095
無形固定資産	借地権	19,307,536				19,307,536		19,307,536
	電話加入権	175,415				175,415		175,415
	計	19,482,951				19,482,951		19,482,951

4. 繰延資産の明細

繰延資産	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
水道加入権	612,120	0	71,400	540,720

5. 関係団体等出資金の明細

(単位：円)

出資先	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
日本高齢者生活協同組合連合会	300,000	0	0	300,000
和歌山県生活協同組合連合会	5,000	0	0	5,000
近畿労働金庫	10,000	0	0	10,000
全国中小事業協同組合	0	5,000	0	5,000
合計	315,000	0	0	320,000

6. 事業経費（一般管理費）の明細

※事業経費は、本部人件費及び物件費、法人全体にかかる管理費用を指します。

(単位：円)

科目	金額	備考
1 人件費		
役員報酬	15,468,500	専務、常務、理事、監事に支給する報酬
職員給与	15,897,575	常勤職員への給与
パート給与	10,963,775	パート職員等への給与
賞与	3,246,533	職員に支給する賞与（引当金含む）
退職金	0	退職金
退職給付費用	3,648,000	全職員の中小企業退職金共済の掛金
法定福利費	8,481,876	社会保険料、労働保険料など
福利厚生費	214,082	健康診断費用など
人件費合計	60,528,911	
2 物件費		
外注費	108,155	作業所などへの作業外注の費用
旅費交通費	830,704	職員の通勤交通費、出張旅費など
通信費	1,631,124	電話代、郵便代など
交際費	183,886	対外的な交渉にかかった費用
減価償却費	14,706,727	建物、車両、備品などの償却費用
リース料	6,423,746	パソコン、介護ソフト、車両のリース料
保険料	1,558,898	賠償責任保険、車両保険など
修繕費	478,980	施設や備品の修理費用など
水道光熱費	711,545	電気代、水道代など
ダイ他介護費用	2,315	体操用具など購入費
消耗品費	1,550,119	10万円未満の物品に関する費用
租税公課	1,528,971	固定資産税、自動車税、消費税など
運賃	2,490	メール便費用
会議費	836,498	総代会、機関会議などに関する費用
事務用品費	2,257,659	文具、用紙など事務消耗品など
広告宣伝費	129,562	広告、宣伝にかかる費用
支払手数料	4,389,693	業務委託費用、振込手数料など
諸会費	1,145,775	各連合会、各種団体の会費
新聞図書費	129,024	新聞代、書籍代
貸倒引当金	350,000	未収金準備費用
研修採用費	224,638	職員の研修や採用にかかる費用
車両運搬費	60,091	車両に関する燃料費、維持費など
地代・家賃	1,156,000	活動拠点の家賃など
委託費	436,157	労務管理業務の一部委託
地域支えあい費用	1,226,205	組合員活動の物品代など
水道加入権償却	71,400	
雑費	34,283	上記以外の事業に関する費用
物件費合計	42,164,645	
事業経費合計	102,693,556	

7. 事業の種類ごとの損益の明細

1) 事業別損益計算書

(単位：円)

	介護保険事業				介護保険以外	その他独自事業	合計
	訪問介護	通所介護	居宅介護支援	福祉用具	障害者自立支援	家賃など	
I 福祉事業収入							433,820,224
1 介護報酬収入	151,433,729	87,831,271	74,579,969	2,401,251			316,246,220
2 自立支援費収入					88,346,473		88,346,473
3 福祉住宅事業収入						29,227,531	29,227,531
II 福祉事業費用	124,628,718	72,284,416	61,378,703	1,976,210	72,708,423	24,054,018	357,030,489
1 人件費	101,750,901	59,015,327	50,111,551	1,613,441	59,361,500	19,638,476	291,491,196
2 物件費	22,877,817	13,269,090	11,267,152	362,768	13,346,924	4,415,543	65,539,293
福祉剰余金	26,805,011	15,546,855	13,201,266	425,041	15,638,050	5,173,513	76,789,735
III 事業経費	35,847,264	20,791,344	17,654,507	568,422	20,913,302	6,918,716	102,693,556
1 人件費	21,128,841	12,254,687	10,405,795	335,035	12,326,571	4,077,981	60,528,911
2 物件費	14,718,423	8,536,657	7,248,712	233,387	8,586,731	2,840,735	42,164,645
IV 事業外収益	5,231,695	3,034,373	2,576,570	82,958	3,052,172	1,009,746	14,987,514
1 受取利息など	4,838	2,806	2,383	77	2,822	934	13,859
2 雑収入	5,226,857	3,031,567	2,574,188	82,881	3,049,350	1,008,812	14,973,655
V 事業外費用	1,760,068	1,020,836	866,820	27,909	1,026,824	339,703	5,042,161
1 支払利息	1,015,132	588,775	499,945	16,097	592,228	195,926	2,908,102
2 雑損失	744,936	432,062	366,876	11,812	434,596	143,777	2,134,059
経常剰余金	4,595,754	2,665,529	2,263,374	72,874	2,681,164	887,006	13,165,701
特別損失	6,661,945	3,863,915	3,280,958	105,637	3,886,580	1,285,791	19,084,826
法人税など	240,858	139,697	118,621	3,819	140,517	46,487	690,000
当期剰余金	-2,307,049	-1,338,084	-1,136,204	-36,582	-1,345,933	-445,273	-6,609,125

2) 福祉事業経費明細表

(単位：円)

科目	金額	備考
1 人件費		
職員給与	148,215,623	常勤職員への給与
パート給与	73,096,409	パート職員等への給与
賞与	20,836,402	職員に支給する賞与（引当金含む）
法定福利費	27,614,766	社会保険料、労働保険料など
福利厚生費	999,980	健康診断費用、予防接種など
人件費合計	270,763,180	
2 物件費		
外注費	412,500	作業所などへの委託費用
旅費交通費	6,441,454	職員の通勤交通費、出張旅費など
通信費	2,220,142	電話代、郵便代など
リース料	4,078,194	パソコン、介護ソフト、車両のリース料
修繕費	1,741,995	施設や備品の修理費用など
水道光熱費	7,114,045	電気代、水道代など
デイ他介護費用	4,862,384	デイ・住宅の食事代など
消耗品費	3,168,199	10万円未満の物品に関する費用
事務用品費	1,199,228	文具、用紙など事務消耗品など
車両運搬費	2,407,281	車両に関する燃料費、維持費など
地代・家賃	13,745,910	事業所の家賃など
その他物件費	8,023,020	上記以外の事業に関する費用
物件費合計	55,414,352	
福祉事業経費合計	326,177,532	

8. その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

1) 主要な資産の内容

①現金預金の明細

(単位：円)

内訳	期首残高	当期末残高	当期増減額
現金	2,009,060	1,792,147	▲216,913
普通預金	38,933,214	34,078,959	▲4,854,255
合計	40,942,274	35,871,106	▲5,071,168

②未収金の明細

(i) 内訳

(単位：円)

内訳	金額
国保連合会未収金	40,392,729
公費未収金	12,634,877
個人未収金	1,712,349
合計	54,739,955

(ii) 回収状況

(単位：円)

期首残高	当期発生額	当期回収額	期末残高	回収率
61,946,646	401,770,989	408,977,680	54,739,955	102%

③差入保証金の明細

(単位：円)

差入先	金額
やまぐち事業所 (山口英三)	8,000,000
その他	93,120
合計	8,093,120

2) 主要な負債の内容

①未払金の明細

(単位：円)

相手先	金額
給与	15,717,029
社会保険料	5,419,652
組合債未払利息	2,386,102
合計	23,522,783

②未払い法人税等の明細

(単位：円)

内訳	金額
法人税 (均等割分)	690,000
合計	690,000

③未払い費用の明細 (単位：円)

内訳	金額
電話代、水道光熱費など	763,630
食材費	305,240
合計	1,068,870

④引当金明細 (単位：円)

内訳	期首残高	当期末残高	当期増減額
賞与引当金	14,675,000	8,875,000	▲5,800,000
貸倒引当金	420,000	350,000	▲70,000
合計	15,095,000	9,225,000	▲5,870,000

※賞与引当金は支給額以上の引当が続いたため実態に合った金額に調整しました

3) 事業外収益の内容

雑収入の明細 (単位：円)

内訳	金額
成年後見報酬	2,543,750
きたば学園 講師報酬	1,090,400
売電収入	1,982,492
和歌山県物価高騰支援金	929,000
特定求職者雇用開発助成金	900,000
寄付金	4,260,143
その他	2,847,870
合計	14,553,655

4) 担保資産の内容

債務の明細 (単位：円)

債務先	金額	担保資産
紀陽銀行	149,956,551	本部（土地建物）、てとて（土地建物） ささえ愛センター（建物）、やまぐちおたっし ゃ館（建物）、ぬくもりの里（土地建物）
日本政策金融公庫	2,458,504	太陽光発電システム（やまぐち）
役員借入	11,357,500	
合計	163,772,555	

※近畿労金から紀陽銀行へ借り換え、今後15年ほどで支払う利息が350万円ほど圧縮できました

※ジャックスとオリコ（11,575,998円）は長期未払金に変更しました

キャッシュフロー計算書

2022年4月1日～2023年3月31日 (単位:円)

		+/-
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期剰余金	-5,919,128	
減価償却費	16,439,173	+
賞与引当金の減少額	5,800,000	-
貸倒引当金の減少額	70,000	-
受取利息及び受取配当金		-
支払利息		+
売上債権の増加額		-
売上債権の減少額	7,206,691	+
未払金の増加額		+
未払金の減少額	793,230	-
未払消費税の増加	308,800	+
未払消費税の減少		-
その他資産の増加額		-
その他資産の減少額	3,505,046	+
その他負債の増加額		+
その他負債の減少額	1,677,586	-
小計	13,199,766	
利息及び配当金の受領額		+
利息の支払額		-
法人税等の支払額	690,000	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,509,766	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出		-
有価証券の売却による収入		+
有形固定資産の取得による支出	6,673,100	-
有形固定資産の売却による収入		+
投資その他の資産の増加による支出	5,000	-
貸付による支出		-
貸付金の回収による収入		+
投資活動によるキャッシュ・フロー	-5,696,891	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の増加による収入	1,012,000	+
出資金の減少による支出	2,379,000	-
短期借入金の返済による支出	12,000,000	+
長期借入金の借入による収入	123,295,500	+
長期借入金の返済による支出	130,622,543	-
組合債の借入による収入		+
組合債の返済による支出	14,550,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	-11,244,043	
IV 現金及び現金同等物の増減額	-4,431,168	
V 現金及び現金同等物の期首残高	40,942,274	
VI 現金及び現金同等物の期末残高	36,511,106	

監査報告書

2023年5月25日

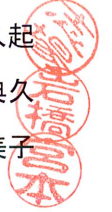
和歌山高齢者生活協同組合
第24回通常総代会御中

和歌山高齢者生活協同組合

特定監事 志場 久起

監 事 岩橋 典久

監 事 宮本久美子



I、監査の概要

私たち監事は、定款第36条にもとづき、当組合の2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の決算関連書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)、事業報告書、附属明細書、理事の業務執行状況、理事会の開催状況、及び総代会提出議案・書類について監査を行った。

II、監査結果

1、決算関連書類等について

- (1) 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当組合の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 決算関係書類及びその附属明細書は、当組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認める。
- (3) 損失処理に関する議案は、法令及び定款に適合しており、当組合の財産の状況に照らして適正であると認める。

2、理事の業務執行、理事会の開催状況について

- (1) 理事は、法令・定款・規約に従い、総代会において決定された事業計画に基づいて職務を遂行しているものと認める。
- (2) 理事会は、定期的で開催されており、適正な運営がなされているものと認める。

3、総代会提出議案・書類について

総代会に提出するすべての議案・書類は、法令・定款に適合しているものと認める。

III、その他

各事業所の職員のみなさんにはこれまでのコロナ禍において、先行きが見通せないなかにもかかわらず懸命に各種事業に当たられたことに、心より敬意を表します。

一方、今般の裁判を巡る経過において、役職員の資質を問われかねない事象が発生したことに対しては懸念を感じます。理事会を中心とした協議等を通じ、改善を期待します。

以上

第3号議案 2022年度損失処理案承認の件

(単位：円)

		金額
I	当期末処理損失金 (うち、当期純損失金)	▲7,415,310 (▲6,609,128)
II	次期繰越損失金	▲7,415,310



人生の旅立ち応援講座
松平真次司法書士



人生の旅立ち応援講座
島久美子終活アドバイザー



法律相談～上野正紀顧問弁護士



日本介護支援専門員協会第21回近畿ブロック研究大会 in わかやま に参加

第4号議案 2023年度事業計画承認の件

〔総論〕

高齢協の事業活動をいっそう充実したものにするために、経営目標を明らかにした運動をつくることが大切です。この3年間、新型コロナウイルスによって制限を余儀なくされてきた、組合員活動では皆さんの声をニーズをきめ細かく把握し、元気になれる機会創出を組合員の皆さんと一緒につくります。さらには、地域の各活動や実行委員会、加盟団体と連携して、安心して暮らせる地域福祉づくりの運動や、健康で暮らせる各種企画をおこない、組合員の皆さんに有益となる情報をお届けします。

A 事業経営・運営

- 経営基盤の強化にむけて、各事業の前進・就労環境の整備・資金の増強などに取り組みます。
- 利用者、職員をまもるために、災害にそなえた事業継続計画（BCP）を作成します。
- 変形労働時間制のメリットを実感できるような検討、介護離職防止の取り組みをすすめます。
- 報酬改定へ計画的に取り組み、サービスの質の維持向上につとめます。

B 組合員活動

- 地域活動拠点を、より多くの地域の皆さんに知らせるために「広報物」を作成するとともに積極的に発信をします。
- 人生の旅立ち応援事業や相談電話等のとりくみをとoshi、組合員の皆さんの声やニーズをきめ細かく把握することで、今後の高齢協事業を拡充させます。

C 地域連携

- 高齢協単独では実現できない、魅力ある取り組み実現に協力し、地域と組合員の福祉向上に貢献します
- 高齢者、障害者の生活や暮らしをおびやかす施策を学習し、署名や意見書提出などをおこないます



にじいろカフェ～オンライン開催



お助け隊活動のひとコマ

1 事業・運営

2022年度は5年ぶりの赤字となり、事業所廃止にともなって2023年度は事業高が約10%（約4000万）減少します。また、複数の所長が定年退職を迎え、慢性的な人手不足が続くなど、人と体制の課題には猶予がありません。採用活動方針の確立・人材定着と育成がすすむ魅力ある職場づくりが急がれます。コロナ禍の経験をへて、災害時対策への意識も高まっています。黒字化を目指すことはもちろん、資金体力の強化を含めたより安定した経営基盤を獲得するために、下記の事業に着実に取り組みます。

【1】経営基盤の強化【人、もの、お金、情報】

- (1) 各事業所がそれぞれ取り組む具体的な目標を話し合いで決めました。達成事業所には賞与加算をおこない、やりがいと評価の連動をおこないます。一年を通して、目標達成にこだわり、本部や役員、組合員の応援で実現を目指します。

●和歌山市

ケアセンターおたっしや倶楽部和歌山ケアプランセンター（居宅介護支援）
ケアセンターおたっしや倶楽部わかやま訪問介護（訪問介護）
ケアセンターおたっしや倶楽部れくらん（デイサービス）
ケアセンターおたっしや倶楽部やまぐち訪問介護（訪問介護）
やまぐちおたっしや館（サービス付き高齢者向け住宅）
ワークショップてとて（障害者就労継続支援）
シニア COOP 和歌山北ケアプランセンター（居宅介護支援）
おたっしや倶楽部福祉用具（福祉用具貸与・販売）

●御坊市

ケアセンターおたっしや倶楽部御坊・日高事業所（訪問介護）

●上富田町

ケアセンターおたっしや倶楽部田辺事業所（訪問介護）
かみとんだおたっしや館（サービス付き高齢者向け住宅）

●白浜町

ケアセンターおたっしや倶楽部白浜ぬくもりの里（デイサービス）
ケアセンターおたっしや倶楽部白浜ケアプランセンター（居宅介護支援）

- (2) 中核人材となる新任所長におこなう研修プログラムを整えます。そのほか、新規採用や定着、育成のためのプランを柔軟に実施するとともに、人材獲得競争に勝ち抜く施策の検討をすすめます。
- (3) 退職金積立の初改定をおこないます（事業主の相互共済の仕組みと国の援助によって設けられた「中小企業退職金共済」に加入中。常勤職員を対象とし、現在の一人当たりの月額掛け金6000円に月額1000円を増額します）。
- (4) コロナ感染症対策の事業継続計画（BCP）に加えて、災害対策や緊急時において、利用者と職

員を守る事業継続計画をととのえます（2024年3月までに整備義務あり）。資機材や備蓄購入時には、法人全体のスケールメリットをいかし経費を節減します。

- （5） 事業実施のために必要性が高いと判断される固定資産（土地建物）の取得検討をおこないます。

【2】 安心して働けるさらなる環境整備

- （1） ハラスメントのない安心して働ける職場づくりを目指し、ハラスメントに気づき、なくしていくために①ハラスメント対策への普及啓発、②多様な研修の機会を準備します。
- （2） 介護離職を防ぐために、職員や家族が仕事をしながら、自らの親きょうだいへの介護を両立させるための相談機能を充実します（ワークサポートケアマネージャー資格の活用。育児・介護休業等に関する規則の活用など）。
- （3） 昨年度導入した変形労働時間制の成果と課題を話し合い、就労環境の改善につとめます。

【3】 サービスの質的向上の研修 および 次期報酬改定への対策

- （1） コロナ禍で制限していた外部研修参加や、外部講師による研修を実施し、学びを充実させ、利用者への質の高いサービス提供をおこないます。引き続き、法令を遵守し、虐待防止委員会、身体拘束対策委員会を定期開催します。また、認知症ケア、プライバシー保護、接遇、緊急時対応など介護サービス情報の公表に対応した研修を全職員におこないます。
- （2） 3年に一度となる介護・障害福祉の両制度の報酬改定が2024年春に実施されます。①制度改悪には現場の声を連携機関と行う署名活動や意見書によって届けます。②情報分析し、経営を守る対応（加算取得、体制確保、業務構築など）をおこないます。③全職員研修で適切なサービス提供の考え方を理解します。
- （3） 2024年度からはじまる第9期介護保険事業計画、第7期障害福祉事業計画実施のために自治体がおこなう事業公募に、組合員の福祉実現となる積極的な検討をおこないます。

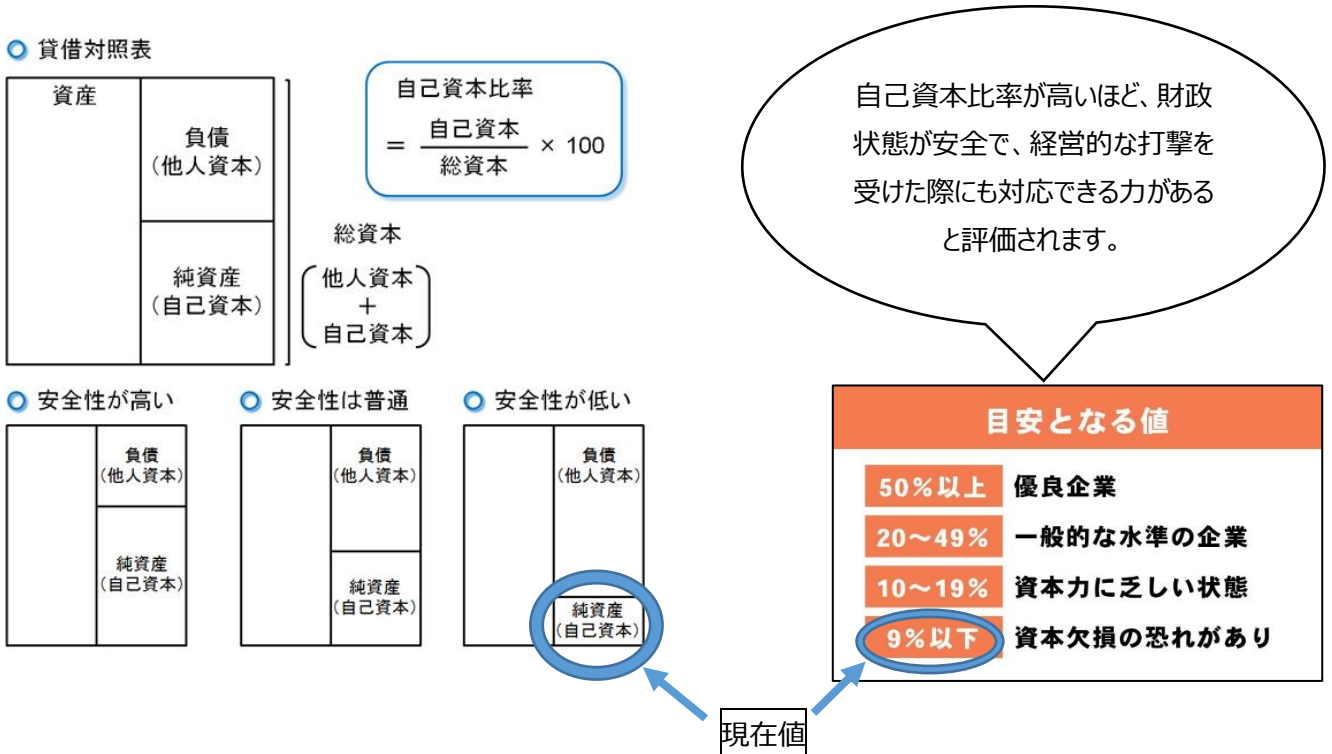
【4】経営目標

- 事業高目標 3億9212万円 (前年度予算比 91.4%)
- 剰余金目標 141万円 (前年度予算比 92.1%)
- 組合員目標 4200名 (+純増107名)
- 出資金目標 3500万円 (+純増148万円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
組合員数	4,332名	4,059名	4,093名	4,200名
出資金額	39,103,000	34,883,000	33,516,000	35,000,000

(1) 経営基盤強化の一環として、「自己資本比率の増加」を重要課題に位置付けます。

自己資本比率増加のために、自己資本（出資金と事業剰余）を増やします。



- ① 自己資本比率は2022年度8.2%（2021年度9.9%）でした。自己資本（出資増資と事業剰余）を増やし、自己資本比率「2か年で10%超」達成を目指します。
- ② 自己資本増加（出資増資）の一環として新規加入を増やし、増資をよびかけます。また、自己資本増加（事業剰余）の一環として、事業活動の利用を一層すすめます。生協強化月間（10月～12月）においてキャンペーンを実施し、力を合わせて目標達成を目指します。
- ③ 今年度、2280万の組合債が満期をむかえます。一時的な銀行借入により返済をおこないますが、今後は自己資本の増強による返済に切り替えることが目標です。

(2) 固定資産の購入（事業所借地の土地購入への切り替え）を検討します

資金流出となる地代家賃の支払いを、固定資産購入にあてる切り替え努力をおこないます。土地購入することで、地代家賃経費が減少し自己資本を増やしやすくなります。また、その際の資金は自己資本でおこなうことが最良ですが、有利子の組合債や銀行借入などを柔軟に組み合わせで検討します。



日本高齢者大会 IN 京都



ばあちやる旅レク（デイサービスれくらん）

2 組織・運動の計画

【1】 組合員活動の充実

「人生の完成期を、自分らしく輝いて生きる」 高齢協はそんな願いを実現するために、組合員の日々を支えることをめざしています。

高齢期は、老いの気づきや不安と向き合う毎日です。これらの現実を上手にうけとめ、やりたいことやできることを増やしていくことが、健康寿命を維持する秘訣と言われています。高齢期の元気源は「出かける予定が生活の中に組みこまれていること」「会話や笑いがあること」「運動習慣があること」です。これらの大切な機会創出につながる活動を、組合員の皆さんと共につくります。そのために組合員活動のパンフレットを作成活用します。

また、組合員の皆さんが「気がかりなこと」を日常的に受けとめるとともに、その解決にむけて人生の旅立ち応援事業やお助け隊事業等を、よりきめ細かくとります。

人生の旅立ち応援事業	<p><葬送の生前予約> お葬式について情報提供や相談をしながら、希望に沿った生前予約を受け付けます。</p> <p><旅立ち応援講座> ニーズにあわせて下記の講座を企画開催します。</p> <p>①人生の旅立ちにむけ、やっておけることを一緒に考える終活テーマ ②専門家の皆さんに協力いただき「お葬式」「お墓」「相続や遺言」テーマ ③少人数でも開催できる「人生の旅立ち応援出前講座」</p>
------------	---

組合員のためのなんでも相談電話	週 1 回の相談電話を実施します。
組合員のための法律相談	事前予約制で上野顧問弁護士による法律相談日をもうけます。
どこ竹わかやま	ささえ愛センター等での竹とんぼつくり活動を実施します。
お助け隊	定期的な全県集会を開催し、各グループの連携をふかめます。 各地域のお助け隊発足を応援する「手引き書（仮）」をつくります。
パソコンサークル JIASPC （和歌山市中之島）	サークルメンバーの PC 技量向上と仲間づくりをすすめます。 新規メンバー加入の紹介キャンペーンを実施します。

～地域の拠点活動～

	めざすこと	現在の活動内容
和我楽の家 （紀の川市打田）	運営を考える会メンバーの皆さんを中心に、活動回数増や地域の組合員の皆さんによる活動企画を拡げます。	みんなで唄う会 落語、手品、ギターで唄う昭和歌謡 傘踊りと銭太鼓&ビンゴ
	イベントチラシを発行します。	ニコニコ体操
ささえ愛センター （和歌山市里）	月 1 回開催している「ささえ愛センター運営を考える会（6名）」を中心に、楽しい活動を企画開催します。 皆さんのニーズに応え「日帰りバスツアー」を企画します。	セラバンド体操（週 1～2 回）、ささえ愛ピクス（月 4 回）、映画上映会（月 1 回）、みんなで唄う会（隔月）、おしゃべり会（月 2 回）、落語会（不定期）
	ささえ愛センターの会場利用をされている団体の皆さんとの交流会を開催し、つながりを深めます。	<会場利用> すみれの会・体操（週 1 回）、らくらくピアノサークル（月 2 回）、ハッピーバンド練習（月 2 回）
	月 1 回の予定表を発行します。	<福祉事業所とのコラボ> 一麦会むぎピースお菓子販売協力を再開
いっぷく亭～紀和庵～ （和歌山市中之島）	月 1 回開催している紀和庵会議（3～5名）を中心に、地域の皆さんが元気になれる楽しい活動を企画開催します	毎週火曜日・木曜日に開催 ゆっくりと体操・フラダンス 歌をうたおう・楽しく頭の体操・カラオケ 青春喫茶・紙芝居&腹話術 季節の行事 など
	月 1 回の予定表を発行します。	
お茶の間★あい愛 （和歌山市三沢町）	昨年 8 月からスタートした拠点活動にかかわって下さった方々によびかけ、運営を考える会を立ち上げます。	カンタン体操（月 2 回）、かんたん麻雀教室（月 2 回）、音読カフェ（月 1 回）、みんなで唄う会（隔月）

	ひきつづき地域の様々な立場の人たちと連携して、気軽に集い交流できる場をめざします。	気軽におしゃべり会（月・水・土） 地域子ども食堂とのコラボ（アート企画）
	月1回の予定表を発行します。	

<各拠点と高齢協福祉事業所との連携>

高齢者の健康づくりへの意欲にこたえる形で、ポールウォーキング体験会を拠点活動の組合員さんと共に企画します。

※ポールウォーキング

ポールを両手にフィットネスウォーキングをすれば、安全かつ効果的なエクササイズが可能です。これをポールウォーキングといいます。“いわゆるウォーキング”とは異なり、上肢と下肢それに体幹筋群を使う全身運動（約90%の筋肉が使われる）だから、エアロビック効果が高く脂肪を効率良く燃焼させ、ダイエットや肥満の予防に処方できます。

【2】 広報

- ・通信を発行し、高齢協を身近に感じてもらえるように情報発信をおこないます。
- ・出店やイベント開催時に、より直接的に高齢協の魅力を伝える広報にも力をいれます。

3 地域連携

平和と人権、暮らしを守る地域連携

高齢期の様々な課題や困難を解決するためには、組合員のつながりだけでなく、地域の各団体や個人の皆さんとの連携が不可欠です。これまでの実績を大切にしながら、より幅広い連携をめざします。

- (1) 県内各地の組合員にむけて、多様な地域主体と連携した福祉の向上機会を検討し情報提供をおこないます。

《地区ごとの組合員数》

橋本市・伊都郡	269名
岩出市・紀の川市	393名
和歌山市	2170名
海南市・海草郡	273名
有田市・有田郡	68名
御坊市・日高郡	136名
田辺市・西牟婁郡	556名
新宮市・東牟婁郡	192名

(2) 地域の各活動や実行委員会での活動

にじいろカフェ実行委員会	認知症になっても安心して暮らせる地域を目指してカフェの開催をおこないます（オンライン、実開催）／地域住民、高齢協組合員の福祉向上のために、会場提供、企画運営などに実行委員として取り組みます。
和歌山高次脳機能障害 リハビリテーション講習会実行委員会	病気や事故で誰しもある可能性のある高次脳機能障害の普及啓もうの講習会をおこないます／地域住民、高齢協組合員の福祉向上のために、企画運営、広報などに実行委員として取り組みます。
小規模作業所の将来を考える会	人材育成の悩みや研修の定期開催ができないなどの共通課題を話し合い必要な企画をおこないます／将来の安定確保のため、相互扶助の精神でネットワークの一員として関与をおこないます。
にこにこオレンジカフェ実行委員会	認知症になっても安心して暮らせる地域を目指してカフェの開催をおこないます（実開催）／地域住民、高齢協組合員の福祉向上のために、会場提供、企画運営などに実行委員として取り組みます。
中之島まちづくり会への参加	和歌山市中之島地域の住民参加によるまちづくりをおこないます／ケアセンターおたっしや倶楽部和歌山ケアプランセンターが、地域の実行委員と協力して、もしバナゲームを地域の方にむけておこないます。

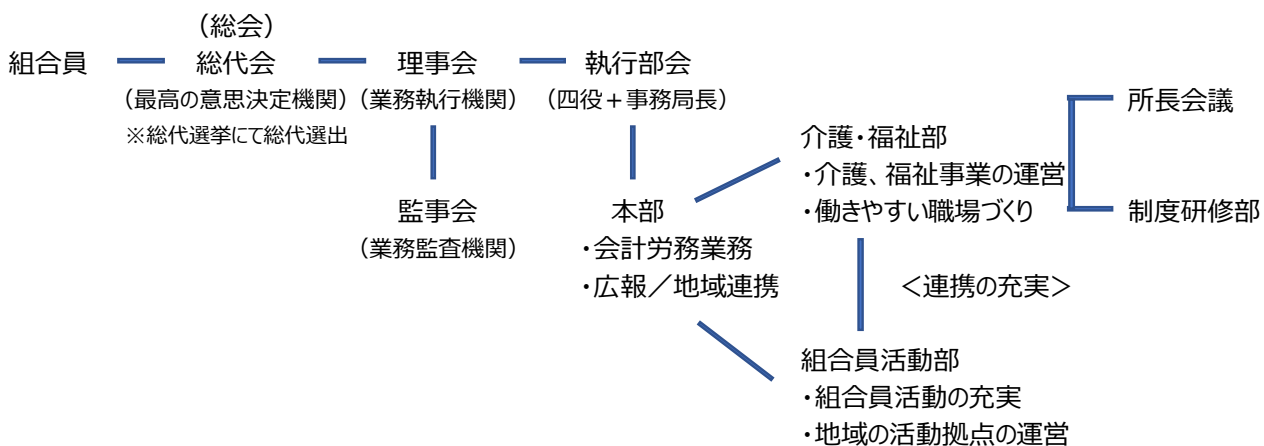
(3) 加盟団体での活動

高齢期運動連絡会（県・和歌山市） 会費（県）2万円 会費（市）5千円	現在の情勢や高齢期に遭遇するさまざまな生活と暮らしの課題を話し合い、学習会や大会企画や運動をおこないます／定期的な役員会に参加し各団体の情報を交換するとともに、高齢協からの呼びかけもおこないます。
和歌山県生活協同組合連合会 会費 9.6万円	会員を構成する組合員の生活と安定と文化向上の企画をおこないます。①県民の暮らしを健康を守る社会的課題への取り組み②協同組合間の連携促進③役職員向け研修など／定期的な企画部会に参加をおこないます。
日本高齢者生活協同組合連合会 会費95万円+20周年特別会費	「元気な高齢者がもっと元気に」「寝たりきりにならない、しない」というスローガンを掲げ、仕事づくり・福祉・生きがいの3本柱の充実に全国18の単協と研修、運動をおこないます／定期的な理事会、委員会に参加をおこない担い手として運動の前進に取り組みます。

(4) 各活動のお知らせの充実にむけて

事業所、拠点への掲示や、さまざまな媒体を通じて、広報お知らせをおこないます。

組織図
2023年



ささえ愛センター・新年のひとコマ



ワークショップでとて・書道アートでの作品



わがらカフェ・草刈り活動



わがらカフェ・ギターで唄う昭和歌謡

第5号議案 2023年度収支予算決定の件

項目	科目	金額	(円)
	介護保険事業	281,760,000	
	障害者総合支援事業	69,720,000	
	福祉住宅事業	30,750,000	
	委託金収入	8,870,000	
	福祉用具販売・住改	1,020,000	
福祉事業収入		392,120,000	
	福祉事業人件費	268,070,000	68.4%
	福祉事業物件費	53,650,000	13.7%
福祉事業原価		321,720,000	82.0%
福祉事業剰余金		70,400,000	
	役員報酬	15,600,000	
	職員給与	8,400,000	
	パート給与	4,350,000	
	賞与	1,800,000	
	退職給付費用	3,690,000	
	法定福利費	5,850,000	
	福利厚生費	120,000	
人件費合計		39,810,000	10.2%
	外注費	120,000	
	旅費交通費	780,000	
	通信費	1,440,000	
	交際費	120,000	
	減価償却費	15,600,000	
	リース料	6,240,000	
	保険料	1,550,000	
	修繕費	180,000	
	水道光熱費	480,000	
	消耗品費	1,200,000	
	租税公課	820,000	
	会議費	490,000	
	事務用品費	1,560,000	
	広告宣伝費	210,000	
	支払手数料	3,050,000	
	諸会費	1,190,000	
	新聞図書費	70,000	
	研修費採用費	180,000	
	車両運搬費	180,000	
	地代家賃	360,000	
	委託費	40,000	
	地域支え合い費用	1,640,000	
物件費合計		37,500,000	9.6%
事業剰余金		▲ 6,910,000	
事業外収益		10,720,000	
事業外費用		2,400,000	
経常剰余金		1,410,000	0.4%

<予算組のポイント>

・事業所廃止による売上減（約 10%）と粗利減により全体的に引締めが必要な予算組となりました

・人件費の割合は上昇傾向です（23年度 78.6%、22年度 75.5%、21年度 77.0%、20年度 75.1%）

・営業収支では赤字予算となります（複数事業所がクラスター発生後の利用減・減収からの経営回復途上。採用がすまないことで現状維持とならざるを得ない事業所が複数存在）

・事業外収益（各種補助金収入、成年後見業務収入、売電収入など）をあわせて、経常収支の黒字化を目指します

・継続して節約につとめます

第6号議案 2023年度役員報酬決定の件

2023年度の役員報酬については、下記を総額の範囲とし、この範囲内における各役員への報酬、支給方法等については、理事会に一任します。

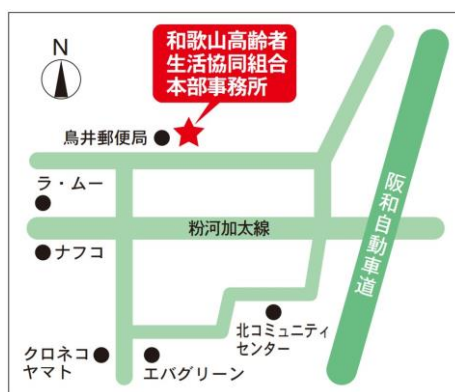
理事報酬	総額	1800万円以内
監事報酬	総額	20万円以内

第7号議案 議案決議効力発生の件

総代会において議決された事項の字句・文言について、趣旨を損なわない範囲で修正することを、理事会に一任します。



高齢協リーフレット リニューアルしました



高齢協本部